

令和4年度(第4回)

“来て、見て、触って、町工場と繋がろう”

あやせ工場オープンファクトリー

報告書

あやせ工場オープンファクトリー実行委員

目次

- I. 開催概要
- II. 開催方法
- III. HP アクセス動向・来場者属性
- IV. アンケート結果(来場者・企業)
- V. 検討事項

開催概要

初めに

綾瀬市は中小製造企業が数多く立地する「ものづくりのまち」ですが、地域住民、従業員の家族などの一般の方と町工場との接点はほとんどありません。

そこで、一般の方等を対象にした工場見学イベントを町工場一丸となって企画、開催することで、人と人、人と企業、企業と企業の“繋がり”を創出します。

2019年の綾瀬工業団地50周年記念を皮切りにスタートし、第4回目の開催となる今回は、開催エリアを綾瀬市内の4つのエリアに拡大し、4エリア4日程で開催しました。

目的

『“繋がり”を生み、地域産業を活性化させる』

- ①理解促進 従業員の自社理解、地域住民との繋がり
- ②地域ネットワーク 市内企業、他社従業員との繋がり
- ③ビジネス 地域外の企業との繋がり
- ④人材確保 将来の担い手との繋がり

エリア概要

日時	エリア	企業数	来場者数 (のべ)	ミニ四駆	ポスティング
9/3 (土)	吉岡	13社	450人	6台	3,550部
9/10 (土)	さがみ野・早川・小園	10社	350人	6台	3,200部
10/1 (土)	上土棚、与蔵山下	6社	300人	10台※OP7	5,500部
10/15 (土)	綾瀬工業団地	12社	620人	11台	-
		41社※38社	1720人	デコ8	

周知

- ・広報あやせ (8/1)
- ・プレスリリース
- ・ネットニュース
- ・SNS (Facebook、Instagram、Twitter) ※140ポスト
- ・ポスティング (綾瀬工業団地エリアを除く)
- ・関係者案内

メディア

Jcom ライブニュース、神奈川新聞、タウンニュース、日刊工業新聞

開催方法

実行委員会

OFを綾瀬工業団地、早川工業団地、さがみ野工業団地、吉岡工業会、綾南工業会の5団体から形成される綾瀬工業団体連合会の事業として位置づけ、これまで3回の開催ノウハウのある綾瀬工業団地のメンバーを中心にあやせ工場オープンファクトリー実行委員会を組織。

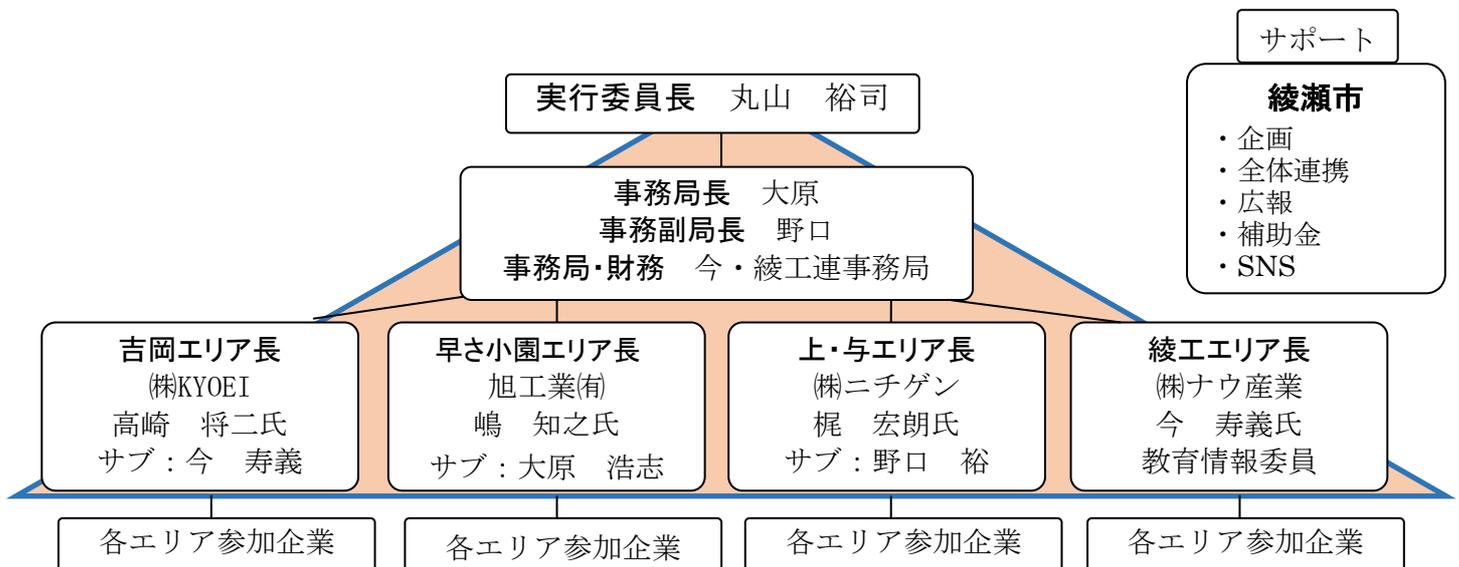
主催

あやせ工場オープンファクトリー実行委員会（綾瀬工業団体連合会）

後援

綾瀬市・綾瀬市商工会

組織図



企業の参加要件

- ・市内に事業所（工場等）を有すること
- ・エリアごとの開催日に工場見学又はものづくり体験（出張含む）が可能なこと
- ・参加費（50,000円/1社）の支払いが可能なこと
- ・本イベントの趣旨、目的に賛同いただけること

来場者の参加方法

- ・基本無料※吉岡、早さ小のみ中学生以下無料
- ・予約サイトからの事前予約制（工場ごと）※抽選方式→前日までの予約（先着）に変更

HP アクセス動向・来場者属性

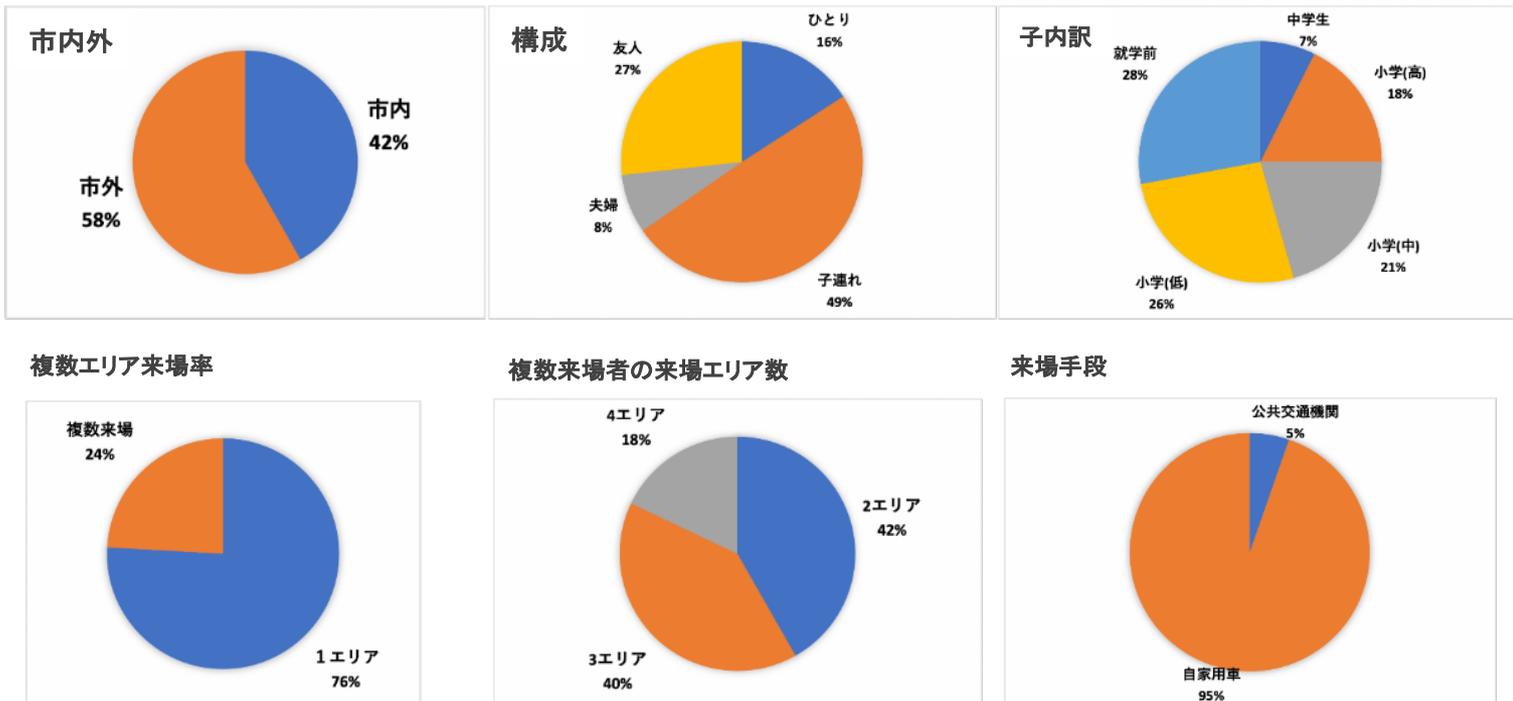
アクセス解析※google analytics



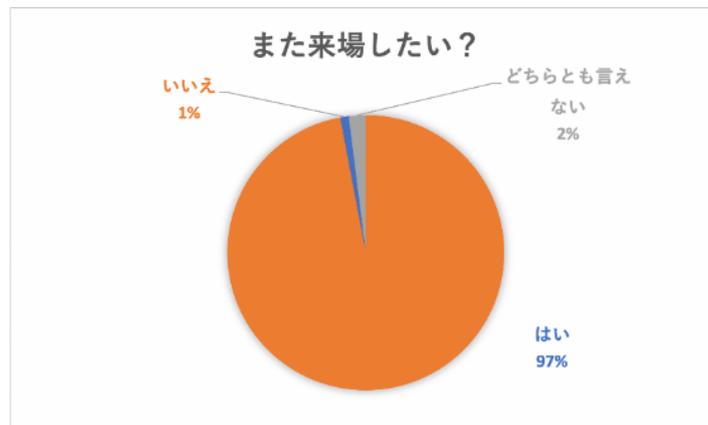
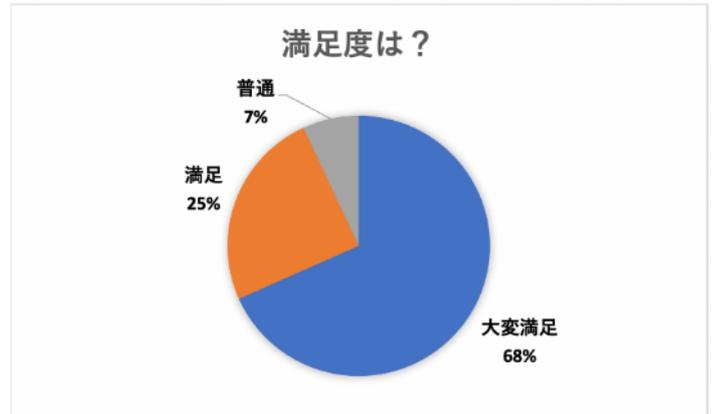
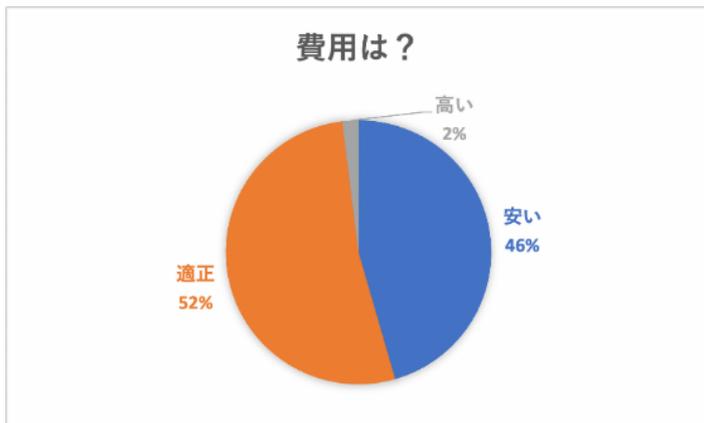
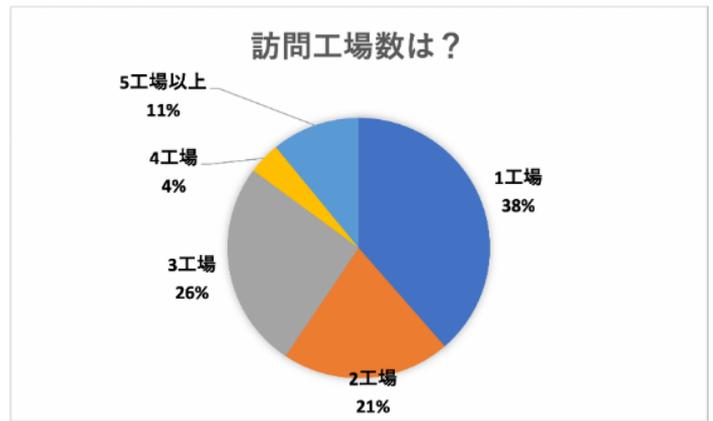
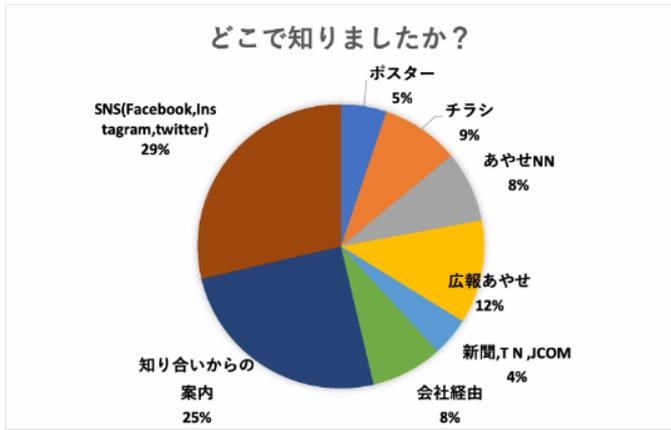
傾向

- ・日曜日はアクセス数が大幅減少
- ・平均閲覧時間が長い（内容を読み込んでいる）
- ・ポスティング、2・3日後にアクセス増、事前公開、MAP 公開案内メール直後にアクセス増
- ・アクセスユーザーの15%がSNS経由

来場者属性 ※予約情報、アンケート



【来場者】アンケート結果【全体】



来場目的は？(抜粋)

- ・子どもへの新しい知識と体験（社会見学、職業体験等）
- ・普段見られない工場内部が見られるから
- ・仕事に関連している企業や材料を知る事
- ・来年以降の出展に向けて雰囲気を知りたかったため
- ・子供にどうやって物が出来ているかを学んで貰いたいと思いました。後、体験費用を自分でお金を払ってみてお金を払う練習になれば良いな！と思いました。
- ・父親の職場見学

どんな工場見学や体験がしてみたいですか？（抜粋）

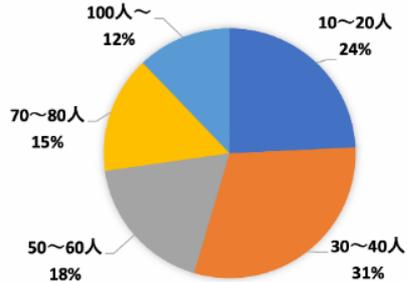
- ・子どもが楽しめる体験
- ・何に関心を引くのかわからないから普段見ない光景が全て勉強になります
- ・食品関係
- ・日常で使えるものの製作体験
- ・日用品（食器とか）作り
- ・ワークショップが充実している工場見学

イベント全体の改善点は？（抜粋）

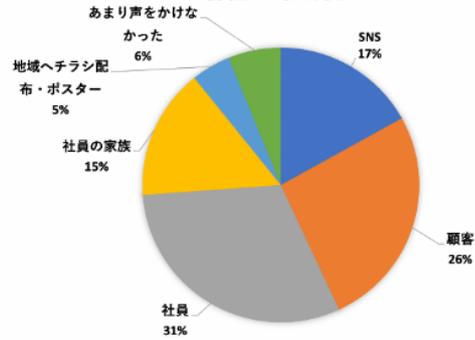
- ・時間が短くてすべてを見学することができません
- ・予約サイトが若干使いにくいです
- ・各参加工場の入口に受付者を常時配置していただくと伺いやすいです
- ・今回の参加企業だけでなく、工業会の企業紹介地図？パネル？のようなものが受付にあると興味を持てて良かったと思いました。
- ・4エリア開催を行うなら、各工業会での協力がもっと必要とされると思います。【理由】実行委員のみではなく、違うエリアの参加企業が開催を行う企業に対しての協力が薄く見受けられました
- ・軽食やドリンク等が売っているとお祭り感が出るし、そこに飲食&休憩スペース等があると長時間色んな工場を回ることも可能かなと思います。
- ・ガイド付きツアー
- ・参加した工場は無料で申し訳なく感じましたが、他の参加費が必要なものが全体的に多い気がしました
- ・マニア向けに1枠の時間をもう少し長くして頂いて、より体験時間を設けて頂けたらより嬉しかったです
- ・申し込み方法が分かりにくかった
- ・フリー見学を中心に一日だけでなく複数日余裕を持って見学したいです
- ・特にありませんが、定期的な実施を検討願います
- ・案内標識が何ヶ所かにあれば初めての場所だと助かります。特に駐車場が別な場所だと
- ・エリアごとの本部（開会式等）の来客数に差があります。ここは4エリアで協力してあげたい
- ・トイレの場所を、明確にしてほしかった
- ・キッチンカーの売り切れが早かった
- ・不用品や製作物の販売会
- ・駅からの送迎バスがあれば嬉しいです

【企業】アンケート結果【全体】

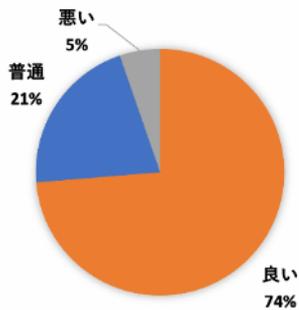
1日の来場者数は？



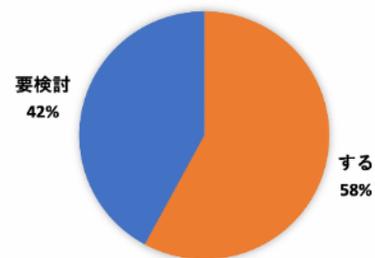
各社の周知方法



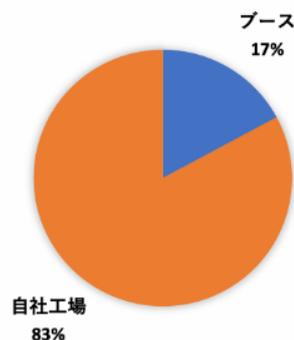
参加してよかった？



次年度の参加



次年度の参加方法は？



出展して満足した点は？(抜粋)

- ・ 地域貢献に協力できたこと！仕事の相談ができる協力企業が増えた！
- ・ 近隣企業との交流ができた、地元企業と繋がることできた
- ・ 見学に来て下さった方が感動した。とおっしゃってくれたのでうれしかったです
- ・ 帰りに「楽しかったです。」と言われたり、従業員も楽しかったと言ってくれた点。
- ・ シャトルバスのお陰で立地の問題が克服できた。
- ・ 来場者全ての方が喜んでくれたところ
- ・ 普段はお客様と接していない従業員が説明員として参加できた
- ・ 工場メンバーが企画をしてお客さん対応をどのようにすればよいか教育できたこと
- ・ 自社の技術を来場者様に伝えられたこと。
- ・ 従業員に普段体験できない事を体験させられた。お客様の反応を直に見る事が出来た
- ・ 社員の団結がはかれた

- ・まだ満足できない
- ・自社のPRや、整理整頓の見直しができた
- ・加工工場など全くわからない人たちに、どう工場を説明するか。PRの勉強になった。
- ・社員の団結力の高さを知ることができました。
- ・記念品など普段作らないものの作製。スタッフ総出による連携対応。地域貢献。
- ・体験をどうやったらいいか社員が考えて案を出し合ったりしてより良い物ができた
- ・弊社の今後の新規事業の評価がもらえた

出展し後悔した点は？(抜粋)

- ・忙しすぎた！！でも楽しかった！
- ・準備不足で、展示内容に課題が残ったこと
- ・もっと色々考えて出展すればよかった。
- ・他の工場に見学に行けなかった
- ・受入れ人数をもっと増やせる。来場者の昼食。シャトルバス停にテントが欲しい。
- ・時間的に準備時間が短く体験スタイルが出来なかったこと。
- ・出展に対し申し込み費用が発生した事。展示会等とは違いイベントとしてとらえた場合、参加企業の負担は大きすぎるのではと思いました。
- ・体験が資格などないと安全面を考え、できないことだったので、他部署なら体験作業もできると感じたこと。
- ・思ったより飛び込みの見学者が多く、体験の定員数を増やせば良かった
- ・車で移動してくることを想定してなかったので車できた人の準備をしてなかった
- ・もう少し一般の来場者が増えると良いかと思います。
- ・仕事内容を誇りを持って説明していた
- ・5Sが進んだ

イベント運営に関して(抜粋)

- ・コースでの開催は初出展の企業にとって良い案だった
- ・時間が無い中で参加企業が最善を尽くせるように臨機応変に対応していただいた
- ・参加企業含め、会議が活発だった
- ・全体的に検討時間が短かった
- ・時間が無かったので、説明が後手になっていた事が多かった。何もわからない者としては、解りずらいところが多く。細かい説明がなかったと思います。
- ・開会式が全員参加出来ない
- ・あらためて、一般の方々を含みオープンファクトリーへの興味がある事が分かった。
- ・準備期間が短い
- ・人数が集まらない中、前日まで募集をして来客に努力していた
- ・1週間をきってから、前日や当日のボランティア、受付対応など決定して遅く感じた。
- ・事前に来社される人数を教えてもらって準備ができた。
- ・空き時間も楽しく過ごせる休憩スペースや縁日（キッチンカー）

- ・事前予約制だったので受付がスムーズに出来たところが良い所、悪い所は特になし。
- ・近隣の学校にチラシ等、なにかしらアピールできればよかったです
- ・ミニ四駆は盛り上がってましたので次回も行った方がよいと思います
- ・ミニ四駆優勝者の一言が欲しかった※すみません掛け声忘れました！
- ・宣伝費用はもっとかけてもいいのでは。
- ・全てのお客さんに一度総合受付を通してもらえると、さらにイベント広場での集客が見込めるし、一般来場者数の把握もできると思いました。
- ・人が各工場に散ってしまうと全体的に閑散としているように見えた。
- ・各工場間の移動手段が何かあればより良いと思った。(巡回バス・レンタサイクル等)
- ・ミニ四駆グランプリのスピード部門とデコ部門が盛り上がってよかったです

これからのアイデア(抜粋)

- ・メタバースでオープンファクトリー開催できたらめっちゃ面白いかも～
- ・コースのガイドさんのようなタイムキーパーがいると色々便利だったのかなと思った
- ・受け入れの練習と企業視察、当日担当者のためのプレ開催
- ・受付会場にて次回の会場イベント説明や受付会場でのイベント。各企業の食堂、敷地などでの地域飲食店の飲食販売など。送迎バスの各企業の巡回停車。
- ・見学者には抽選で、ポイントや地元商品券、アマゾン購入券などがもらえる特典。
- ・作業現場や作業者の写真コンテストや、オープンファクトリー全体での売り物(例えば工場案内・用語辞典の冊子)など、、、
- ・展示時間を4時間⇒6時間へ増やし、全地区同時開催。気候がもっと良い季節に実施。健康経営セミナーなど～子供たちの運動なども取り込む。
- ・入場は無料に出来ないでしょうか。その方が来易いと思います。
- ・もっとお祭りの要素が有っても良いと思います。
- ・子供たちの企画で考えると、夏休み期間中の自由研究に
- ・工場の中でなにかを体験する非日常感は求めた人だけが得られるものなので、この特別感
は継続してほしいと思います。
- ・休憩スペースやちょっとした縁日風のものがあると一日中楽しめるイベントになる
- ・もっと知名度をあげて綾瀬市全部でやる。工業も商業も
- ・綾瀬市内の工場で働きたい人と、募集している企業とのマッチング企画
- ・イベント広場に音楽が流れていると、集客と盛り上がりが増すと思いました。
- ・キッチンカーの数とキャパが増えて欲しいです
- ・市として沢山人に来てもらうために、もう少し宣伝してもらいたい。
- ・出来るならば、本業とは別にフリーマーケット等で来場を呼び掛けたい。
- ・小学校の遠足等で、少人数のグループ分けにして、何か所かに、工場見学に来てくれる

次年度検討事項

来場者

- 全体来場者の24%が複数エリアを訪問している。市内同業社のリピート訪問も多いと考えられるが、4エリアを通して参加している一般来場者も多数見受けられた。参加者層も小学生連れの親子が大半であり、同層が参加しやすい時期での開催も検討の余地がある。
- リピート率も多い→本年度参加者へのメール案内も要検討。

周知方法

- 本年度は広報あやせは、エリアごと、4回紙面掲載の予定であったが、8/1号のみの掲載に留まることとなった。広報を見ての来場者は20%にとどまっているが、本来は当初計画通り、4回の掲載が望ましい。(情報を切り分けて掲載・短期間開催の場合は別)
- 掲載からまで2ヶ月以上のリードタイムがあり、ポスティングも行わなかった綾瀬工業団地エリア(10/15)はリピーターへのメール案内やSNSを中心に周知を行ったが、来場者【知り合いからの案内】が25%と大きな割合を占めている。
- ポスティングは開催1ヶ月程度前に実施したが、前日までの申込み制で開催日の前週に投函する事で飛び入り客の増加を見込める可能性がある。(開催日まで日が空きすぎている)

開催時期

- 参加者属性や他工場見学イベントを鑑み、夏休み期間での開催を優先して検討。
- アンケート結果より、「1日でまわり切れない」「従業員を見学させたい」との回答も多数あったことから、複数日の開催(4エリア×2回)も検討
- ※企業単体で考えると開催負担は大きくないが、運営ボリュームは単純に2倍になる
- 企業参加の敷居を下げ、準備期間をとるためにも、年内には開催時期を確定し明示する。

予約方法

- 来場者満足度、実情(飛込多い)、運営最適化のため、これまでのような工場毎の予約チケットを作成するのではなく、1人1枚の来場PASS方式とする(ワンデイパス方式)を検討したい。

	各工場予約枠方式(既存)	ワンデイパス方式
メリット	【客】 予約の確実性 【各社】 来場者管理楽 来場者を予測可能(詳細) 【運営】 来場者データ管理ができる	【客】 飛込み易 【各社】 来場者を予測可能(大まか) 【運営】 来場者データ管理が簡素化
デメリット	【客】 飛込み難 【運営】 来場者管理コスト大	【各社】 管理コスト増 ※予約枠有の場合

- 個数制限があるもの、来場者を事前に把握したい場合は各社受付を行う(予約フォームや電話等) ※燕三条工場の祭典方式
- 各社で予約フォームを使う場合、フォーム作成講座を開くことも検討

域内交通手段

複数工場を回れた回答者ほど、満足度が高い傾向にあったため、域内移動時間の圧縮による満足度向上が望めると考えられる。全工場がバス停の巡回バスやレンタサイクル、工場前駐車場の確保等の検討の余地がある。

事業費

予約方法の簡素化やミニ四駆 GP を最終日に集約することで事業費の圧縮（＝企業負担額の圧縮）と、団体協賛や企業協賛枠の増加を検討。

実行委員の役割

会計・渉外（協賛）・当日運営・事務局調整等の役割分担の他、全体エリア把握・統括者を要する。

エリア実行委員の組織

各エリア、エリア長をトップとし、参加企業から実行委員（2～3人）を組織し、以下の役割を分担することが望ましい

- ・企業概要書の集約、確認担当
- ・チラシ、MAP の調整担当
- ・予算担当
- ・協賛企業調整担当
- ・参加企業との連絡調整担当

HP の運用

流動的かつスピーディな対応、全体情報を把握している必要があったため、委託業者での対応が困難であった。次年度以降、本年と同様の業務の委託をした場合予算が大幅に増加（総計 120 万以上）すること、また HP 構築スキルを要することから、委託先の公募等の検討が必要。

また、現在、は綾瀬工業団地の運営管理下にあるが、実行委員会の事業費にいれ、竣工連への移管も検討

【予約システムの業務】

- ・予約ページの構築（41 社）
- ・予約ページ修正
- ・キャンセル対応
- ・問合せ対応
- ・当日 MAP 案内×4 エリア
- ・来場メール×2×4 エリア
- ・アンケートメール×4 エリア
- ・予約状況の共有×4 エリア

その他

○ツアーガイド○トイレ明示○ステージイベント○キッチンカー拡充○実行委員会口座